

魚食普及事業「漁業士の水産教室」を開催

午後 1 時半頃、安平町追分の児童館に入ったとたんホールで遊んでいる十数人の子供に圧倒されました。その声、その動き、予想を遥かに超えていました。ここ児童館は胆振管内漁業士会と一般社団法人 北海道水産会が「漁業士の水産教室」を行う場所です。

平成 25 年 10 月 24 日（金）午後 2 時、安平町追分児童館で「水産教室」を開催しました。最初に、当会から挨拶を行い、その後講師（高島漁業士）の紹介を行いました。

事業の内容は漁具の説明、網やロープの補修実演、魚に関するクイズ、DVD（ホッキ漁）鑑賞、ホッキガイの剥き方実演、質疑応答などです。

児童館に集まった子供は、いわゆる学童保育（小学校の授業が終了後、子供を預かる制度）の子供と遊ぶためにフリーに来館した子供達で、遊びモードは最高潮でした。



ホールで遊ぶ子供達

漁業士の高島さんはカッパ姿でエビやカニを獲る籠を持って登場しました。その姿に子供達は興味津々。この籠は何を獲る籠だと思いますかとの高島さんの質



漁業士の高島さん



問に子供達は元気よく答えていました。



漁業のクイズです

ロープのつなぎ方を説明



剥き方の実演



DVDでホッキの漁業を勉強

メインイベントはホッキの剥き方の実演です。大きなホッキガイに怖がる子供達もいましたが、時間の経過とともに大きな貝に触れるようになりました。生のむき身と熱湯をかけた後のむき身の変化に驚く子供達の眼は高島さんの手元に集中していました。



私にも触れます